

# トの背アリ・小倉 弘子 え・題字／南和恵



あの日坂で逢った時は、妙な感じの娘だとは思つたけれど、案外平常は幼くて、万事に騒やかに、無邪気なふるまいをする女の子だろう、と想像を決めつけていた。

現に、こうして坐つてゐる姿を見ても、孤立無援の心細さのようなものは感じても、性の陰湿さのなれの果て、というじめついた暗さはない。坐り馴れた母親の部屋にいるように、べつたり腰を落としこんで、今にもお手玉を投げてほしそうな顔つきでいる。

わけもなく、ふつとのめりそうになつた気持ちを、加奈子は用心深く押えつけた。

自分に間わりのないことなのだ。気つかぬふりをしていればすむことなのだ……。

加奈子は顔を上げた。喉に声をふくませて、何気ない風に智世に笑いかけた。

「どう？ ごはん食べれそうなら運んできましょうか」

「待つて。おはん私に話があつたんやないの」

落としこんでいた首を伸ばして、智世は早口で加奈子を呼びとめた。

「どうか、そういうって呼びこんだな、と加奈子は自分の先刻の言葉に当惑して立ちすくんだ。智世は加奈子の坐るのを待つしぐさで姿勢を正した。まるで反対ではないか。不快な吐息を覚えながら、それでも相手のまつすぐな視線に会うと踏んばれなかつた。

重い気持ちになつて、加奈子は脚を折つた。

「私にお金貸してくれへんかしら」

そう鼻声で訴えられて、加奈子は耳を疑つた。

「困つてんねんわ。貸してほしいの」

智世は糸切歯の覗く唇を舐めながら強く繰り返した。

その掠れた声が、加奈子の胸に重苦しく宿した。

こんなことをいい出しそうな予感はあったのだ。

寒々とした想いが、加奈子の表情を能面のようにこわばらせた。

「私に頼むつて、おかしいやないの。何に使うお金か知らないけれど、そう簡単に私に頼めるの？」

智世は口端を歪め、うすく笑つた。自分にとも、相手にともつかない、嘲りの匂いのする笑みから加奈子は身構えた。確かに察しつけている。だが、こんな身勝手手

な相談に巻きこまれてたまるものか。そんなに甘い人間に思われたのが業腹だと、加奈子は荒い息を詰めた。

そう思いながらも、相手のあまりにも悠然とした態度に、加奈子は気押されるのを感じた。

まったく縁のつづきもない自分に、無心を申し入れる。ううに、この娘には濃い屈辱感もないらしい。他愛もない、と片づけられそうな軽い物言いではなかつたけれど、ことのついでに頼んでみようか、というような心の動きだったのかもしれない。それならそれで、こちら

もさりげなく身をかわしたらしいことなのだろうけれど

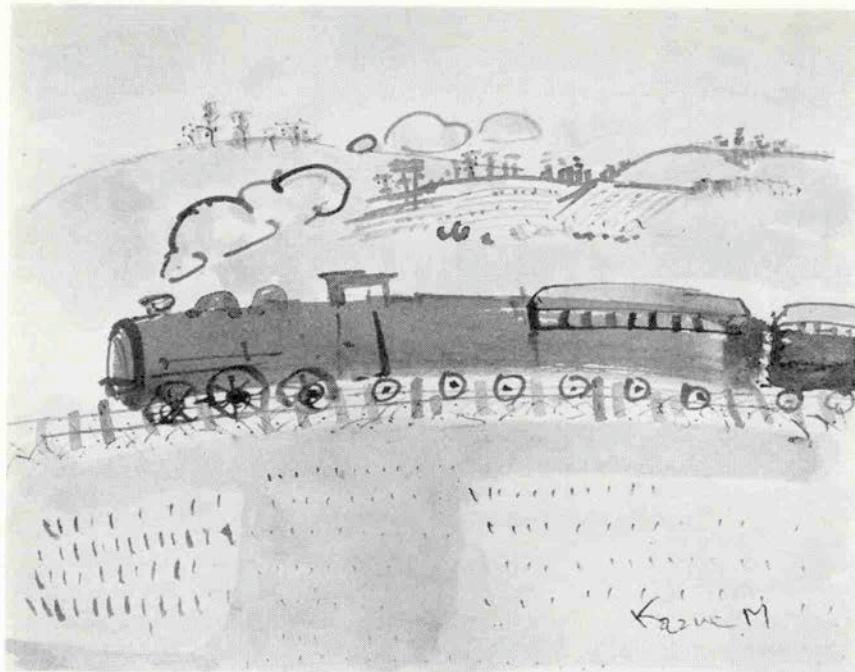
。 そう考えついたとたん、加奈子は時間が気になつてき

た。 祥二が帰ると決まれば、まだ買物にも行かななければならなかつた。仕事も裕とじが残つていて。選りに選つてこんな日のこの時間、人の話に執着している閑はない。

加奈子は自分にそういう聞かせた。自分には平静な生活がある。智世の困難が、自分の経験したことのない現実の生活ラインから、宙に浮き上がつた悩みだとしても、親もいるだらうし、雇い主だつていて。幼い相手かもしれないが、素肌を寄せ合つた男はどうしているのだ……。

「その相談には悪いけど乗れないわ。どうやら智ちゃんの困っていることは見当がつくけれど、話に乗つてもらう適当な人が他にいるでしよう。おばさんの想像通りだとしたら、早く処置しないと、とり返しのつかないことになるわ」 まるでテレビドラマの中のせりふだと、加奈子は自分の言葉に苦笑した。だが、当事者以外なら、誰がいつたつて、これぐらいのことしかいえないと、加奈子は胸の中で呟いた。「とりあえず、今日は帰つた方がいいわ。まだ顔色も悪いし、それにひよつとすると」 そこまで早口が出たが、後はいい淀んだ。今になつて、祥二が帰宅するから、と告げるには、あまりに露骨な追い出しの口実となる。「ひよつとすると、つてなあに?」

智世がすかさず言葉尻を捕えた。  
「私がこのまま居坐るとでも思つたの」  
不意をつかれて加奈子は浮かしかけた腰を落とした。



と智世は重みを帯びた声で呼びかけた。

「子供の始末つていわはるけれど、おばさんにも関係のあることかもしねへんわよ」

言葉の中に笑いが溢んでいた。ことさらゆつくり吐かれた不吉な意味の語りかけに、加奈子は智世の気狂いじみた嘲弄を喰さとった。

「莫迦なことをいうもんやないわ」

そう嘆めた声でいい返しながら、自分の声の無残な響きに、加奈子は息を呑んでいた。

うす雲が抜かれたのか部屋内に翳りが忍びこんでいた。こめかみが引き吊る感覚が、一瞬加奈子の焦点をぼやけさせていた。横坐りに膝を崩した智世の姿が二重になり、輪郭の渋んだ小さな顔が、陰惨な老婆の影に重なり合ったように縮かまつて、上目使いに揺れていた。

「おかしいな。どんな人でも一つや二つ、はつとすることがあるみたい……。それからね、あのケーキ古かつたのと違う？」旦那さんは食べさせん方がいいわ

智世は低く喉を鳴らして笑った。加奈子には、その眼が物狂おしく揺らめいている気配に感じられた。心ならずも、口からの出まかせを吐き出した後の、やり場のない感情の余韻と思いたかった。が、真意はわからなかつた。

「おばさんつて、ほんとうに可哀想な人やね。何一つドラマチックなところのない大人つて感じがするわ。最初逢つた時はそう思わなかつたけれど……」

うす赤く眼の端の染まつた視線を、智世は加奈子に注いでいた。それからふいと顔をそむけると、笑いが過ぎて涸れたという風な声で、

「雨になりそうな暗さやわ」

と落とした眼もとで畳の一個処を見めていた。

智世が予告したように、日暮れ前から降りだした雨が、夜の訪れを早くした。

時計を見ると、五時には間のある時間であつたが、部

屋の中はすっかり暗くなつていて。

あれから家を出て行つた智世が、何とはなしにまたすぐ玄関先に戻つてくるような気がして、加奈子は坐りこんだまま、神経だけは表戸の方へ奪われていた。いつもなら、どうに買物に出かける時間なのに、その気にもなれなかつた。

台所まで出ていって、調理台の上に置かれたまま大皿のスパゲッティを目に入れた時、加奈子はいたたまれない気持ちになつた。透明なビニールのゴミ袋に詰めこむと、空気を孕んだ橙色の中身は胎児のようふくらんで、ますます加奈子の暗い想いをかきたてた。

祥二の帰つてくるのが待ち遠しかつた。

今はもう、少しは気持ちも落着いて、智世の謎めいたいい回しは嘘だつたろう、という確信はあつた。

それでは何を祥二に告げようとしているのだろう。そこまで考えを辿りながら、加奈子は改めて部屋中をぐるりと見廻した。

申し訳ばかりに置いた針箱と、裁台に広げられた紅島の長着。鏡をふり返つた自分の眼の中に、まずそれが飛びこんだ。

荒っぽい手つきで、加奈子は固い手触りの長着をたたみこみ、部屋の隅へ押しやつた。

広げたものの、糸も通さずにぼんやり眺めていた紅島が、たたまれてからがえつてほつと息づいたように、細かい蚊がすりの光沢を、電灯に向けてなまめかせていた。

指先でかすかな音をたてた絹鳴りが、加奈子の記憶を醒ませた。

叔母の家に引きとられて育つた加奈子が、婚約中の祥二のいる岡山のドックへ、初めて一泊で面会に行つた時だつた。

大阪駅まで見送りにきた叔母が、耳もとに囁いた言葉が忘れられなくて、加奈子は唇以上を祥二に許そうとなかつた。



「加奈ちゃん。あしたの朝は迎えにくるさかいにね、今

晩の夜行でかなづ帰つておいでよ。結婚前やから、よくよく身を慎しまなあかんよ。式はまだ来年やのに身重にでもなつたら、私が死んだあんたのお母ちゃんに申し訳ないしなあ。わかつてるか」

くどくどとくり返す叔母の言葉に、加奈子は素直にうなずいた。

後から思えば、純なのは自分でなく、昔気質の叔母であつたのだと、加奈子は幾度となく思い出しては微笑したが、その時は叔母の気持ちを裏切りたくない思いで必死であつた。

白絹のブラウスを脱がそうとする祥二に抗つて、加奈子はきつく胸もとを両腕で抱えこんだ。交叉させた両の掌でつかんだ袖山が、指先で震えて、キチキチとか細い音をたてていた。

「なんやねん。ここまで逢いにきてくれながら……」

半ばあきらめ顔の面持ちで、祥二が吐息まじりに呟いた時、

てのけたものだつた。

「子供か——。子供はできへん」

その声音が淋しそうに聞こえて、一瞬加奈子は躯から力が脱けた。

荒い呼吸を盛りかえした祥二が、再び躯を抱きこみにきた時、加奈子は、たつた今の相手の言葉を嘘だと決めていた。まるで襲い者を撃退するような勢で、祥二の躯をはねのけながら、そのくせ沈んでしまつた相手の顔を見ると、そつと身を寄せていつたりするような、幼い行為を短い時間にくり返した。

いわれた通り夜半の汽車に乗り、大阪駅の白々明けのプラットホームで、嬉しそうな顔つきの叔母を見た時、加奈子はこれで良かつたのだと、心の底から思ったものであつた。

ところが、祥二の言葉は嘘ではなかつた。

規則正しい生理の訪れが、加奈子の健康を証明していくのに、現在までの二十何年間、加奈子はとうとう母親にはなれなかつた。

もう結婚生活も何年か重ねた頃、加奈子は叔母に逢つ

「それでも子供ができたりしたら」

と加奈子は、叔母の言葉をとうむ返しに、真顔でいつた時、

「ほんなら祥二さんは子種がないこと、自分でわかつてたんやな。仕事があんなんやさかい、若い時悪い病気にもかかつたんと違うやろか。加奈ちゃん聞いてみたか? あんたは大丈夫やの?」

叔母の息せききつた、露骨でむさい問いかけに、加奈子はあわてて首を振つた。

正直なところ、不妊の原因は祥二の過去にあるかもしれない、と思わぬでもなかつた。

が、今さらそれを聞いたとして、相手の苦い顔を見たところ、どうなるものでもなし、自分も嫌な気分を味わうのだと、加奈子は思った。また、叔母の心配するような、その種の病気の微候が、自分の軀に現われなかつたのが、せめてものことだと、加奈子は感じていたのだった。

そうとした。

そう気がついてみると、智世の妊娠さえ一方決めではなかつたのか。加奈子は遠い視線になつて考えた。雨音がひときわ強くなつたようであつた。激しいしぶきが窓ガラスを鳴らして通つた。

その時、勝手口からの呼び声が、いらだたしげに加奈子の耳に届いた。

「磯野さん、いはるんでしょう? 干し物よ、干し物!」

加奈子はそうだつたと、小さな悲鳴と共に飛び上がつた。降りだしてから何時間もたつのに気づかなかつた自分を、隣家の主婦は留守だと思いこんでいたらしい。加奈子は急いでベランダに出たが、叩きつけられる雨音に、僅かの洗濯物が重みを増して、ビニールロープを撓めかせていた。

祥二の乗つたタクシーが、家の前に停まつたのは、それから三十分も過ぎた頃であつた。

いっぱいにふくらんだボストンバッグを、いきなり玄関に放りこむと、突きでた腹を波うたせて加奈子を呼び

たてた。

「金を出せ。金だ」

まるで辻強盜のせりふだと、加奈子はあわてて財布を取りに入つたが、うろたえていたので置き場所がわからなかつた。とつさに思い出して鏡台の中の小銭入れを取りだし、レシートの紙片や領収書をかきわけて、百円玉を何枚か見つけた。

タクシーが走り去るのを見送つて、ほつと息をついてふり返つてから、加奈子は愣きに声をあげそうになつた。門灯の向こうで手まねきしている夫の胸に、大きな影が蠢いている。

「またベットですか」

「今度のは飼いやすいぞ。ドヌ、おばはんだ。やさしくしてもらうんやぞ」

その夫の細めた眼を、加奈子はうんざりとして見つめた。

フイリピン猿は、確かマリリン・モンローから取つた名だつた。今度はドヌ。おおかた、ごひいきのカトリー・ヌ・ドヌーブとでもいうのだろうと、体長一米そこそこのチンパンジーを見ながら苦笑した。

それからがちよつとした騒ぎになり、加奈子はおかげで、先刻のもの憂い気分をほとんど忘れ去られた。

雨に少し濡れたから、毛布を出してやつてくれ。ストップは出せるか? 灯油はあるやろな。矢つぎ早の亭主の注文に、加奈子は夫の戦略を感じておかしかつた。こうして最初から、ベットの支度に追い廻してしまえば、落着いた頃はもう諦めて、女房も苦情をいわなくなる。そう見抜いている夫の智恵が見えている。

例の朱塗りの机の前にどつかと大きなあぐらをかき、祥二は膝の間にドヌを抱きこんで揺すつていた。濃黒色の毛並みが艶のあるふくよかさで、船での祥二の愛玩ぶりがうかがえた。

●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊どうぞ！  
欧米の心身障害者を訪ねて

# 世界の福祉施設

橋本 明著 △社団法人社会福祉協議会事務局長▽

△カラーページ、本文三二〇ページ、定価 一〇〇〇円▽ 送料 二〇〇円

お申込みは月刊「神戸つ子」編集部まで。

神戸市生田区東町一-三の一 大神ビル七階 ☎ (030) 2246

振替口座 神戸四五一九六

ニュース漫画〈神戸新聞「笑点」〉を  
必死のパッチで描き続けて七、〇〇〇回（二〇年）

## たかはしもう笑品集

内 容 「最新カラーマンガ」(9頁)

「笑点20年」(36頁) 「似顔絵100人」(54頁)

「ニュースマンガ家の一日」(4頁)

二、五〇〇円  
〔送料100円〕

お申込みは「たかはしもう出版会」(月刊神戸つ子編集部内)

送金方法／太陽神戸銀行三宮センタービル支店普通預金一一五二七〇四 「たかはしもう出版会」 または月刊神戸つ子あて現金送金してください。

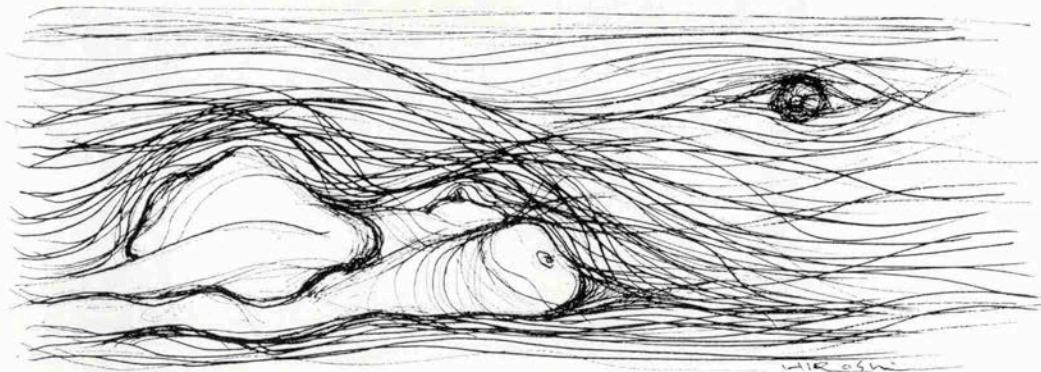
## 連載小説

<2>

# シール・ブラウンの神々

田靡 新

絵・松本 宏



野中実様へ

ごぶさたしております。またインドへ出かけられるのですね。いつか、あなたとごいっしょしたいと思いながら、そのチャンスいまだきたらず……でも、あんな別れかたをしたのでは、無理な話ですね。このお手紙、ひょっとして、インドへの飛行機のなかで読んでもらえるとすれば、わたしの分身がインドに旅をするのと同じ理屈になりそうです。実は、その旅への願いを狙つて書いたともいえますのよ。

前置きが長くなりましたが、あなたは、あの人から、わたしのことをもうお聞きになつてていると思いますが、グアムでの事件は、わたしに何の影も遺していないといえ、ウソに聞こえるでしようか。ああでもない、こうでもないと、たしかに悩みました。このお手紙も書こうか、書かずにおこうかと迷いぬきました。

あなたに、あの人があ事の一部始終を喋つているでしようから、わたしは、わたしなりに考えをぜひとも聞いていただきたいという気持が、結局このお手紙を書く気になされたのです。これは、おしきせでも、同情をかうためでもありません。どうか、その点は誤

(三)

解なさらないでくださいまし。

わたしは、最初に事件と書いてしまいましたが、必ずしも事件とは考えていないんですよ。交通事故か、病気か、それも風邪ぐらいにしか思わないのです。このことは強気でもなく、弱気でもありません。わたしが、こんな考え方をするのですから、わたしのとりまき連中は、気が狂ったように騒いだり、同情を寄せようとしたのでしょうか。わたしは、そのひとつひとつが、なんだか、わざと以外のところで勝手に判断され、解釈されるのが我慢できなかつた。

あなたに、グアムでの出来事をこまかく書く気にはなれません。日本人の新婚旅行者が、われもわれもと出かけてゆくからには、何か甘い翼があつたとしても不思議じやなかつたのです。まして添乗員ののんちゃんが、そのことを知らないはずじやなかつたでしよう。日本でも沖縄や米軍基地のある町では、いまでもあれに似た事故が起こっているのでしょうか。新聞やテレビが報道しないだけで、わたしらちは慣らされたのでしようか。

OLとか独身貴族とか（いずれの言葉も好きではありません）が、これでもか、これでもかと海外旅行にわんさか出かける。そのごく一部にせよ、事故に巻きこまれています。むかし、「からゆきさん」のように人狩りがなされ、海を渡つた彼女らとは似ても似つかぬものですが、何か女の性のもつ渴きが、ここまで行きついたかという気がしないであります。

戦後、間もないころ母の姉さんが、ちょうど似たような事故にあつています。その伯母は、そのことのために婚期を逸してしまったが、のちに船員と結婚しました。ところが、その主人から病気を感じさせられ、みじめな死に追いつまれたことを聞くにおよんで、夫婦の生活で何が幸せやら、不幸になるやら判らなくなつてしまします。男と女がいる限り、似たような暮しをくりかえすのですが、男女の仲は紙ひとえのきわどいものだということをつくづく感じました。

あなたの最初の出逢いは、ヨーロッパ旅行のとき。

旅行社の添乗員のあなたは、何事にも丁寧で礼儀正しく、親切でやさしかつた。それはわたしだけでなく、他の女性たちにもそうだつた。そのことは妬みにもなり、わたしには不満でしたが。

あなたののような添乗員と親しくしていることは、何かと便利で都合がよいと考えていました。旅行好きのわたしが、いまになって告白すれば。それが、数カ月して、たんなる便利屋さんでなくなつた。

あなたが、インドに行つてきたといつて『ムーン・ストーン』のおみやげを頂いたときからだわ。逢つたびに、口ぐせのように忙しい忙しいといいながら、世界をとび歩くあなたの姿は、わたしには、とてもたのもしい存在だつた。

あなたから『ムーン・ストーン』のいわれを聞かされたとき鳩の血。鳩の首を縮めて血を見る、見ないかで、この謎の宝石は幸か不幸のきわだつた石だと……。そのとき、すでにわたしの生涯を予見なさっていたのかしら、いまになつて思い出せば。しかし、わたしは、この宝石の透明なひかりが気に入つていたの。ひかりを受けるとそのまま十字型に反射する。明るさにも、暗さにも、素直で、気品がある。夜はベッドのライトで、昼間は、腕時計を眺めるたびに、まぶしいひかりを楽しんでいた。

あなたに宝石の返礼をしたいと思つづけていたときあなたが、あれをしたがつたから、誘われるままにホテルに出かけた。楽しかつたのか、悲しかつたのか、ほんとはよく判らなかつたのよ。それなのに——妊娠。わたしは、あのときほど卵巣をもつた雌という動物のよう自分があつたまらなかつた。

あなたのそのときのセリフは、忘れません。『じゃ、堕すんだな』ただひとこと。雄の特権みたいないい方。味もそつけもなく、ね。

あなた、それでも人間なの』首をねじられたのは平和の鳩でなく、このわたし。考えれば考へるほど、どこ

までもみじめになりそう。だから、徹底的に復讐をしようかとさえ思ったのよ。でも、もういいんですよ。あのことを責めるためにお手紙を書いているのじゃないんですから。

あなたの学友の森田君に、そのことを相談しようとしたことがあるのですが、結局なにも喋れずに帰ってきた。

そのうちに交際を申し込まれ、あの人のやさしさにもぐりこんでいた。そして、あの人の家族ともゆききするようになつて、結婚を受け入れてしまったのです。

あなたとわたしとの絆縛をあの人気が知つていたのか、どうか確かめるすべはありませんが、新婚旅行のパック

をあなたからお祝いに贈られたことを知つて驚いたのですが、あとのまつりです。このガム旅行で、あの人との関係は打ち砕かれたのですから。

あなたとあの人があ、親友だとしても、お互に自分の不利なことは伝えないとしますと、ガムでの事故も、あの人には、まだ話していないのではないかと。とすれば、

このお手紙は、全く余分なことを書いているわけですが。あなたへのおみやげものや新家庭のご挨拶文も押し入れで、ほこりをかぶつたままで。事故ののち、レンタカーでのドライブも打ち切り日本へとんで帰りました。その後、お互に口もきかないですから。いまは、別居しています。もう別れてしまつたのも同然です。幸い籍も入れていませんから話は簡単です。世間への面だけがのこつています。

#### (IV)

美佐子からの手紙は、まだつづいている。野中が美佐子の手紙を受取ったのは、インド旅行への前夜だった。しかし、下宿のポストに入つたままになつてゐるのを朝まで気つかずについたという。出かけるとき、アタッシュケースにほりこむ。厚みのある手紙などいためしがないので裏を返してみる。岩根美佐子。すでに忘れた名前である。女たちの暖もりが貌とうまく重ならない。彼は

駅へ駆けこみ改札を抜ける。電車に乗り、つり皮を握る。ずっと美佐子の名を追つてみる。思い出せない。

空港の国際線のおびただしい人垣を横切つているとき

美佐子の名前に想い当たる。『ムーン・ストーン』の安

い石を買ってやつた女だ。『いまさら、あの美佐子が何

を書いて寄こしたのだ』

野中は十五人のパーティの確認を急ぎ、出国手続きに

追いまわされ、美佐子の手紙どころではない。しかし、バスポートを入れたケースを開くたびに、美佐子の丸顔が浮かんだ。

『今日は、あれがないのよ』

『あれって』

『のんちゃんは、女のことを何も知らないの』

『女の生理まで気がまるかよ。そんなことは、自分で

管理してくれなくちゃ』

『管理ですって、わたしは平凡な二十八日周期よ。もう間違いないわ』

野中が美佐子の手紙を開いたのは、ホンコンでの給油のときだった。しかし、ゆっくりとは読んでおれない。免税店でのウイスキーを買う坊さんたちの相手をしなければならなかつたから。いまやっとカルカッタに向う機内で読みかえしていた。

——のんちゃんには、ガムでの出来事を書かないつもりだつたが、やはりお報らせしておきます。あの人とホテルを出て海岸沿いを散歩中のときだつたのです。専用浜辺を離れ、少し遠出しすぎた感じがしたのですが、岩場や密林地区にも興味があつたのです。ほんとのところ。すると、降つて湧いたように、あつという間に、四人とも五人とも、わからぬ男たちに取りかこまれた。大男だった。神わざに近い早さで押えつけられていた。あとで気づいたことですが、波の音も、密林をわたる風の音も、まぶしい太陽にとけこみ夢の延長みたいな気持。ただ汗がたらたらと流れていった。暑さも感じない。まして悲しみも、褐きもなく、けだるい鈍痛が体内にこもつて

いて、何も考へる力がなくなつてゐた。

ホテルに帰つて、バスルームに閉じこもつたまま何度も何度も髪を洗い、いつまでも躰を洗つてました。窓ガラスをせつせとこするみたいに。だが鳥色をした男の臭気がとれない。夕食は喉をどうらなかつた。あの人ほど

うしたんだろうと気づいたのは、真夜中に眼を覚ましてからだつたわ。あの人も眠れなかつたのでしよう。ベッドで背中をまるめていた。わたしは、あの人背中にふれたのです。

『このまま別れよう。何もなかつたように』

『こだわつてゐるの』

『いや、ともかく俺と出逢わなかつたことにしてほしい』

のんちやんなら、あのとき、防衛してくれたでしようか。そんなことを思ったのは、もつと後になつてからですが、いま、このお手紙を書きながら応えてほしい気がするのです。あの人は、わたしを助けてくれなかつた。もちろん、あの大男らに立ち向うことは不可能でしようが、ただ、おろおろするばかりだつたのよ。後になつて、たしかめはしませんが、あの人も後手に縛られ、海水パンツもはがされ、わたしと同様だつたわけですから、余りあの人ばかりも責められない。

しかし——と、また考へてしまふ。これから先、あの人と未永くいっしょに暮らしてゆくのに、何か重要なものが欠けてゐる気がしたのです。

あの人も辛かつたでしようが、わたしにうちとけてくれないことと、わたしとあの人をふがいないと思うことを突きつめますと、男と女の違いみたいなものに行きつくのです。

あの人にとっても、わたしにとっても災難だつたとしか思えない。あのことは一日たりとも早く忘れない。いつてしまえば、蜥蜴が尻尾を切り落すぐらいにしか考えたくない。



あの方は違います。いや世の男どもは、いつまでもこだわりつづけるのではないでしようか。のんちゃんなら、どうかしら。わたしは、永年暮してて、相手に浮気されたことの方が数倍もショックを受ける気がするのだけど。ふいに災難にあった事故より計画的にじわじわと不倫をされる方が怖い。

のんちゃんに、とりとめもなく長いお便りを書いてしまったわね。しかし、いまわたしが新たな決心を迫まられている事実も付け加えなければなりません。卵巣のはつてくの氣味悪さ、喉に棒をねじこまれる異常さに怯えながら、すでにわたしひとりでない実体。わたしはあえてそれを確かめたいのよ。まして自分の意志とは関係のない新しい生命に対しても。生まれるものに罪がないだけに、神の摂理に従つてみたいのです。

一九七〇年九月×日

美佐子

タイ航空ボーイングTG三一一機は、バングラデシュのメコン地帯上空を飛んでいた。野中は眼を閉じ、リクライニングシートに埋くまっていた。隣りの席にいる私が、ときどき話しかけても返事はない。

「道路にしては、曲りくねっているし、やつと川だといふことに気づきましたよ」

梅雨の終りで、川幅は増水しミルクコーヒー色の帶が、密林のなかをゆくくりと蛇行しているのが見下ろされる野中は、ふと緑の地平線上に群がる大男たちの影をみた。それはアクロバチックなバレー劇にも似ていた。ひとりの女が、男の腕から次つぎと逃げまどうたびに肌着をむしりとられてゆく。彼の脳裡には、その残酷な古いフィルムが焼きついて離れない。美佐子の肌のあらゆる部分が、ちょうど袋かボケットを裏がえすように、むきだされでは砂にまみれてゆく。そのざらざらした感触が、野中の肌や口のなかにも伝わっていた。

「みどりの壁といい、海の碧さといい、自然のもつ雄大な美しさが、まるで絵のようだ」

日本につづく海があつた。碧いきれいな海である。河口に流れれる濁流は、沖合にひろがらず、海岸線にそつてわずかに染みている。私は眼をほそめ、窓に寄せた顔ヒレスティキの黒こしより焼きにポテイト、アスパラガスをそえた。パリジエンヌ風サーモン、ロールパンにクラッカーチーズ、マンゴーケーキにコーヒー、そしてドイツビールにいまはコニャックブランデーをちびりちびりなめている。

「まるで空とぶレストランだね」。そのため四人のスチュワーデスはクラブのホステスながら働きづくめだままで、おしほりのサービス。アベリチフの注文、次いで料理。酒のおかわりを訊いて歩く。そして後片づけと休む間もない。二百五十余の客を相手にするのだから。両側に三人づつ五十列余り、まるで小劇場なみだ。

「この食事と酒代を運賃から割引いてくれてもよさそうだがね」酒を飲まない僧侶がいう。

「ハイジャックも一人じゃ、とてもダメだね。少くとも五、六人は必要だな」とカメラマン。

「いつたん事故が起れば、日本の一週間分の交通事故死亡者に匹敵するわけか」と私。

機内は、給油するたびに国のことばが入れ代わった。日本語から広東語へ。そしてベンガルの言葉へ。黄色人種から金錯色の肌が、ふえている。いよいよ亜大陸のど真中へきたのだ。私の背中をかすかな怯えが走り抜ける。この間、野中は美佐子のことを想いつづけていたという。

「なんとかしなくては」

彼は呟くと、インド入国カードの準備にとりかかった。

(つづく)

(訂正)

本誌六月号「シール・ブラウンの神々」(第一回)の内で誤植がありましたので次のように訂正いたします。

一五二頁上段二六行目 カジユラオ→カジユラホ  
一五二頁上段三十行目 カジユラオ→カジユラホ







バターとニンニクをベースに焼いた牛肉、魚、アワビ、エビなどはアッサリとした風味です。また、和風仕込みのタレは七味、大根おろし、ふりネギを薬味として使用。但馬牛のとろけるような舌ざわりと風味を新鮮な野菜いためと合わせてご賞味下さい。ステーキはビレスステーキ、特別ビレスステーキ、ロースステーキの各種（3,500円から）、他に魚、アワビ、エビなどで、いずれも野菜つきです。



神戸市生田区北長狭通1丁目24  
(三宮・生田新道)

TEL (078) 331-2509

12:00PM～2:00PM 4:00PM～0:00AM

第1・第3月曜日休み

●クラブ ムーンライト ☎ (078) 331-0157

●レストラン ムーンライト ☎ (078) 331-9554



ビーフフォンデュー￥6,000 各種オードブル取合せ￥1,200より 鰻のバテ サワ  
ークリーム添え￥1,800 特製コールドビーフ￥4,500

最高の眺望、最高の料理

7月1日よりオープン

六甲山上からの素晴らしい眺望を楽しみながら和田山牧場直送の穂高ビーフ（タジマ牛）をムーンライト特製のソースでエンジョイしていただきます。また、「春屋」のワインや舶来洋酒も各種揃えています。なお、席数が限られておりますので、ご予約をいただければ幸いです。また、ガーデンにて冷たいお飲み物などの用意をいたしておりますのでご利用下さい。

レストラン

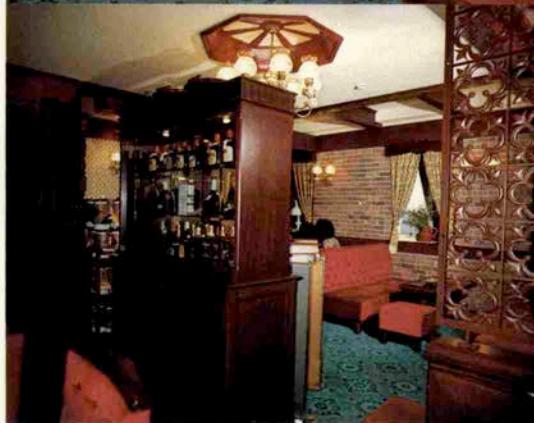
六甲ムーンライト

六甲オリエンタルホテル西100m

TEL (078) 891-0497 三宮店 331-0886

12:00PM～10:00PM 9月中旬まで営業

暑中お見舞い申しあげます



さわぎ

神戸市生田区中山手通1丁目91-79 ニュー神和ビル2F

確かな技術でハイセンスな店づくり

門竜

神戸市生田区中山手通1丁目91

MARUWA

総合設計・施工

丸和建築デザインルーム  
生田区北長狭通5丁目22-2 ☎ 341-5380 / 5538-9

# 神戸のうまいもんとドリンク

## ★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭  
兵庫区旗塚通7-5 ☎ 231-6300  
トアロード店 ☎ 391-2538  
兵庫駅前店 ☎ 575-5306

北海道郷土料理 蝦夷  
生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階  
☎ 331-7770

和食 くれない  
三宮生田新道浜側中央KCビル2F  
☎ 331-0494

鍋もの・おむすび  
お茶漬・炉ばた 悟味西  
生田区北長狭通1-20 ☎ 331-3848  
三宮さんちかタウン ☎ 391-5319

たこ焼 たちばな  
三宮センター街(旧柳筋) ☎ 331-0572

とうふ料理 東府家  
生田区北野町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび  
鍋もの ふるり  
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かつこう吉 本  
生田区加納町3-95-1(ニュージャパン別館前) ☎ 241-3450

御食事処 鳥光  
須磨本店 ☎ 731-5855 センターブラザ ☎ 331-6948  
さんプラザ店 ☎ 391-3696 三宮東門店 ☎ 331-4043

★西洋料理  
レストラン アボロン  
兵庫区八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン 鹿皮〈あらかわ〉  
生田区中山手2-9 ☎ 221-8547・231-3315

ピザ&スパゲティ ガルの店  
兵庫区琴緑町5-1-7 西山ビル1F ☎ 241-9025

ステーキハウス グリル青山  
生田区中山手通2-112-2(トアロード) ☎ 391-4858

レストラン クイーンズコート  
生田区中山手通2丁目31 ☎ 242-2469

ステーキ&  
ドリンクス 神戸館  
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F  
☎ 321-2955

スカンディナビア料理  
と世界の民族音楽の店 ゴツクスタッド  
生田区中山手通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY &  
STEAK HOUSE SAN-MON三門  
生田区中山手通2丁目98-99 ☎ 331-5817

Café et  
Restaurant アンドウトワ  
生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639

レストラン スイスシャレー  
生田区北野町3-48アニールドマンション1F  
☎ 221-4343

レストラン セントジヨージ  
生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン 男爵  
生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 テイフアナ  
生田区中山手通1丁目4-12 パールコーポラスビル1F  
☎ 242-0043

maison de  
la mode 花屋敷  
三宮フラワーロード役市所前 ☎ 251-0315

ピザ・パブ ピザ・パテオ  
生田区元町通1-49(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ピストロドウリヨン  
生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

ピッタハウス ピノツキオ  
生田区中山手通2-101 ☎ 331-3545

ナイトレス ト  
レストラン 火の鳥  
生田区中山手通1-27 ☎ 242-1330

ボリネシア料理 海賊焼  
神戸港第4突堤ボートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店  
生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン ムーンライト  
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月  
レストラン フルーツホール  
元町1番街 ☎ 331-1987

ステーキハウス れんが亭  
生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六  
生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 ロス・ヒタノス  
フラメンコショー

レストラン フック神戸店  
生田区栄町2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ 凱旋門  
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F  
☎ 321-3378

ドイルレストラン ハイデルベルグ  
生田区山本通2丁目 ローズガーデン2F  
☎ 222-1424

ボロニア風  
生パスタの店 カブリオ  
神戸三宮さんプラザB1F  
☎ 391-5206

サバー&れすとらん 島津  
生田区栄町通2-14 加地ビル3F  
阪神元町駅西口南 ☎ 391-5700

ティー&スナック エボック  
生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

喫茶 ガーデニア  
生田区東町113-1 大地ビル1F  
☎ 321-5114

宮水のコーヒー にしむら珈琲店  
中山手店 生田区中山手通1-70  
センターストリート ☎ 221-1872・231-9524

北野店・山本通2-9 242-2467  
(会員制) 3F事務所 ☎ 1880

ピアノホール バックスステージ  
生田区三宮町1サンプラザ10F サンロイヤル  
☎ 332-0230

珈琲モーツアルト  
生田区山本通2-98グランドマッシュン1F  
☎ 241-3961

ファッショナブル キングスコート  
グーン ティーラウンジ ペントハウス  
生田区山本通2-111 キングスコート内  
☎ 242-7090

珈琲 ん  
生田区三宮町2丁目25(トアロード) ☎ 391-1589

club 飛鳥  
celub 生田区中山手通1-117 ☎ 331-7627

celub 小万  
生田区東門筋中島ビル3F  
☎ 391-0638・4386

celub さち  
生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

グラブ  
生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

celub なぎさ  
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

くらぶ ぶ一げん  
三宮生田新道浜側中央KCビル5F  
☎ 331-8593

celub Moonlight  
BAR ☎ 331-0886・391-2696  
Club ☎ 331-0157

クラブるふらん  
生田区北長狭通1-53 ☎ 331-2854

★STAND & SNACK  
PUB & RESTAURANT アップランド  
生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サロモン アルバトロス  
生田区中山手通1-24-7  
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

DRINK IS AN ART OF LIFE ウッドハウス  
生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320

C A F E WHISKY 音楽の家ETエトワTOI  
生田区三宮町3三宮センター街西入口  
スカイドームビル3F ☎ 332-1755

純会員制 エドワーズ俱楽部  
生田区北長狭通1-28 ホワイトローズビル5-6F  
ホワイトローズビル5-6F 生田新道 ☎ 391-3300

S N A C K L 8 M  
生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1  
☎ 321-3070

ナイトイン おしゃれ貴族  
生田区中山手通1-24-7  
大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925

スナック 蘭の花  
生田区中山手通2丁目30-1 東門ダイワナイトプラザ5F  
☎ 391-4455

スタンド かてな  
生田区中山手通1-90 英健ビル1F  
☎ 331-1316

本店 洋酒の店 キヤンティ  
生田区北長狭通2-3 ☎ 391-3060・391-3010

北店スープとパンの店 生田区下山手通3-8-9  
☎ 331-3661

スタンド グラムール  
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

スタンド くる実  
生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サロモン 神戸時代  
生田区中山手通1-28 モンシャトウコトヅキビル  
☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ  
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

スナック 聚利  
生田区下山手通2-8-6 ☎ 321-0260

スナック 山莊  
生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot サントノーレ  
トアロード店 生田区下山手通2トア・コード  
☎ 391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7  
ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スナック レオパルド  
生田区中山手通2丁目30-1  
東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992

DRINK SNACK スネカリツ子  
生田区下山手通2 水見ビルB1  
☎ 391-8708

Wine and something 珍地理屋  
生田区中山手通1-24-7  
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

素舌洞 でつさん  
生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778

スナック ビジービー  
生田区中山手2 ☎ 391-4582

ワイン&ティー バランタイン  
生田区中山手通2-101 大洋ビル2F  
☎ 321-5677

居酒屋 ボルドー  
生田新道浜側中央KCビルB1  
☎ 331-3575

S T A N D マシュケナダ  
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F  
☎ 331-5587

サロモン パレ小姫  
生田区加納町4丁目神三ビル2F  
☎ 332-1098

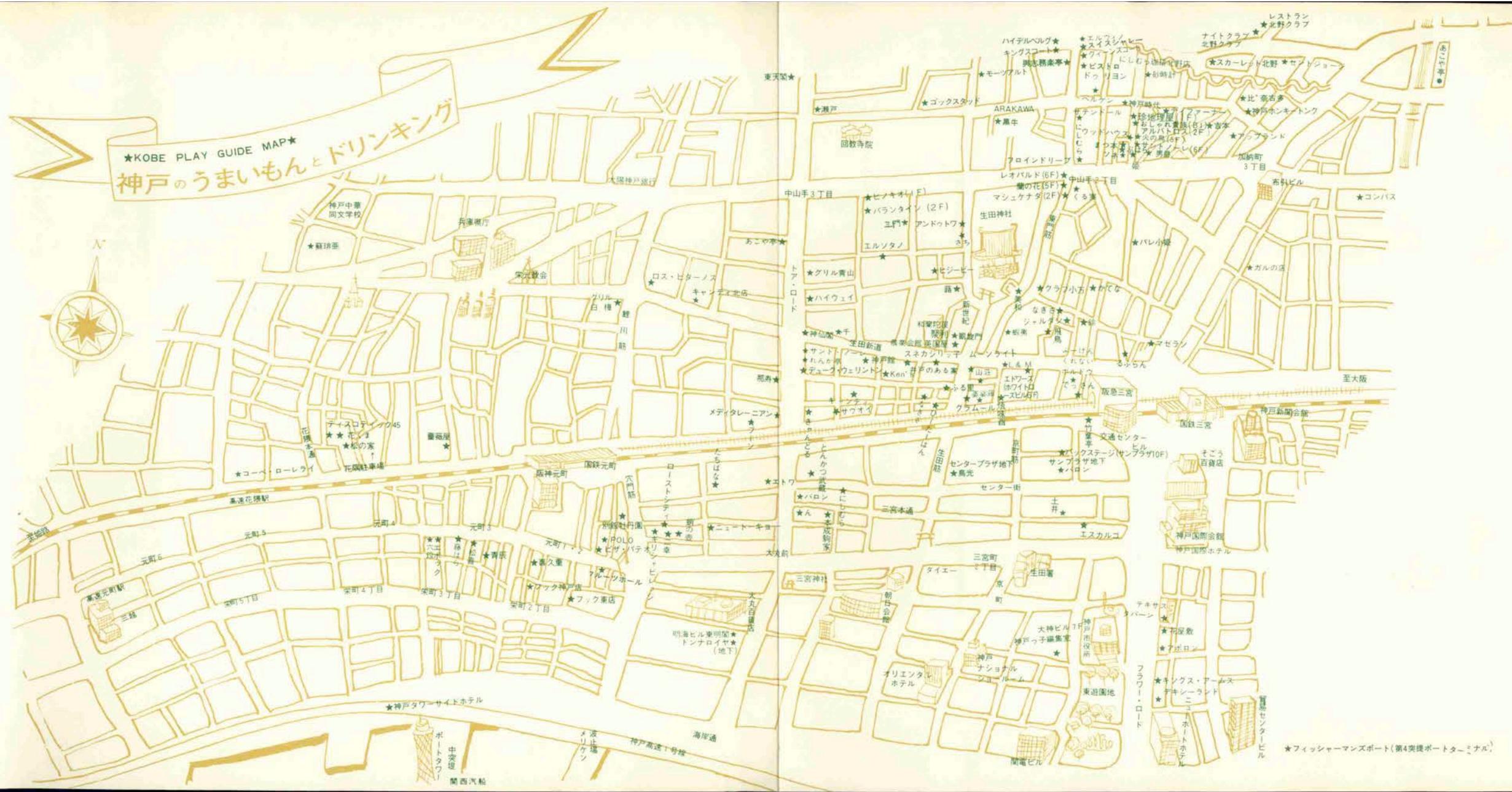
スナック 興志務樂亭  
生田区山本通2-60パールライフB1  
☎ 242-1977

ティー&カクテルラウンジ ルカカルトン  
生田区北野町3-2-67 ☎ 241-4323

ウエスタンパブ 神戸ホンキートンク  
生田区加納町2-30 ☎ 241-2161

バー サンデリカ  
生田区中山手通1-90 ☎ 392-1434-6

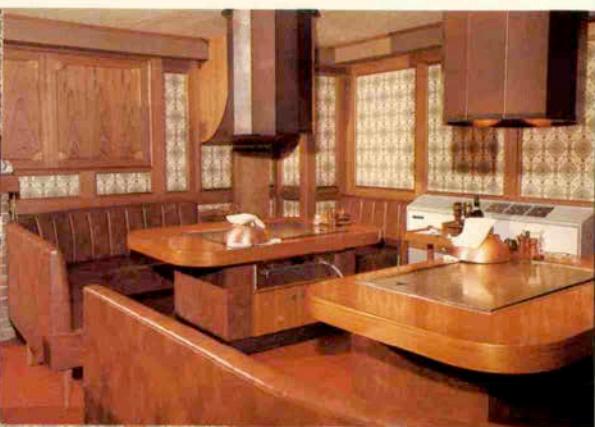
ラウンジレストラン コンパス  
兵庫区二宮町3-12 大西ビル2F  
☎ 242-1236



★フィッシャーマンズポート(第4突堤ポートターミナル)

# 暑中お見舞い申しあげます

ステーキハウス山崎では30名様までの各種パーティを承っています

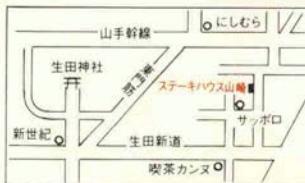


山崎  
ステーキハウス

神戸市生田区中山手通1丁目前川ビル1F

TEL 391-3335

5:00P.M.~0:00A.M. 日曜定休



# VIVA KOBE '77

TEACHER'S

眩しい風が吹いて……六甲の山並みに浮かぶあの雲ももう夏空のもの。いつのまにか少し汗ばむ季節になりました。そんな神戸の6月に誕生した“みもざ”。

あかるい雰囲気の中におくつろぎいただけるような、そんなお店です。



生田区中山手通1丁目76  
神戸酒販ビル1F  
TEL 331-3277 日祝休

キープボトル

スコッチウイスキーティーチャーズ  
¥12,000



生田区中山手通1丁目24  
大和ナイトプラザ4F  
TEL 222-2139 日休



4月にオープンしたばかりの“モネ”は、絵が好きなママ陽子さんが「睡蓮」で有名なフランスの印象派画家クロード・モネにちなんで名付けたなごやかな雰囲気の店。ママ手づくりのテーブルシチューやワインカラーがとってもよく似合う。

キープボトル  
スコッチウイスキーティーチャーズ  
¥ 9,000



TEACHER'S



キープボトル  
スコッチウヰスキー「ティーチャーズ」  
¥ 7,000

ピアノの調べが流れるゴージャスなあなたのサロン——  
ご商談、ご家族連れでのお食事、パーティ、お見合い、  
デートのひとときをゆったりとお過ごし下さい。

《ステーキの半額奉仕》 PM5:00~10:00

テンダーロインステーキ ¥3,800⇒¥1,900 ヒレミニヨン

ステーキ¥2,800⇒¥1,400 サーロインステーキ¥3,800⇒¥1,900ほか



KNIGHT CASTLE  
ナイト・キャッスル

生田区中山手通1丁目904-1  
エースタウンビル地階  
TEL 332-1904 日祝休

# VIVA NIGHT



ぶあつい木のカウンターと風格ある木づくりの洋酒棚。  
和風の静けさと銘酒の味わい。美人のママを相手にグラスを傾ければ、仕事の疲れも忘れてしまう。そんな落ちつきのある、こじんまりとしたあなたのホームバー。



## 蘆風

生田区中山手通1丁目5  
ゼウスビル2F  
TEL 391-1183 日祝休



キープボトル  
スコッチウヰスキー「ティーチャーズ」  
¥12,000



和やかな雰囲気とジャズがたっぷり楽しめることが好  
」と、たえちゃんとみさちゃんの姉妹のような二人。

JAZZ CLUB  
**SATIN DOLL**

生田区中山手通1 ☎ 242-0100 無休



ラス片手に美女と語りながら過ぎゆくラベコンスタン  
ンでのひととき、あなたはきっと真夏の夜の夢のなか

SNACK & NIGHT SPOT

**ラベコンスタン**

生田区中山手通1 マリンビル地下 ☎ 332-1019  
第一、三日曜休



お向いの異人館をながめながら、ドイツの味を楽しむな  
んて神戸らしい。今日もグーテンタータ。

**Heidelberg**

生田区山本通2丁目 ローズガーデン2階

☎ 222-1424 水曜休



飲んで歌って、和やかな雰囲気に仕事の疲れも忘れてし  
まう、そんなんあなただけのホームバー“シャングリラ”

SNACK



**シャングリラ**

生田区中山手通1 マリンビル1F ☎ 391-8941  
日祝休

an' the livin' is easy. Fish are jumpin', an' the cotton is high. Oh yo' daddy's rich, an'  
yo' wa is goodlookin'. So hush, little baby, don't you cry.

**S  
U  
M  
M  
E  
R  
T  
I  
M  
E**

# NIGHT IN KOBÉ

梅雨もすんでカツと照りつける太陽。その日没とともに始まる神戸の夜。



おかげさまで開店二年目のステップを踏み始めました。  
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。——金藤 憲一



## LEOPARD

生田区中山手通2 東門ダイワナイトプラザ6F

☎ 391-0992・2125 第3日曜休



グルービーなピアノホールが誕生。30年代の古びた倉庫を感じさせる中であなたもジャズと酒と共にスイング。

Piano Hall

## BACK STAGE

生田区三宮町1 さんプラザ10F サンロイヤル

☎ 332-0230 第一、三月曜休(7月は無休)

Coffee Time 11:00~6:00 Whisky Time 6:00~12:00

オールド  
4500円  
ハイグ  
5500円

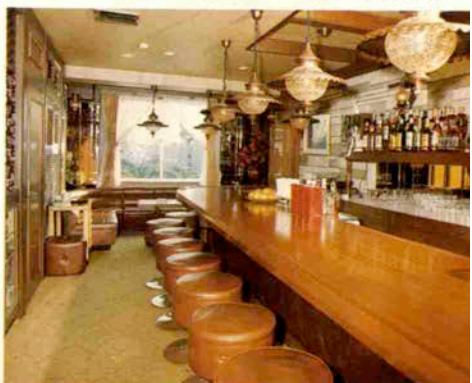


ビールを愛する「ゴールド・ホロニガ会」のメン  
こぞって「阿羅仁」に集合。アサヒビールでカン  
スナック

## 阿羅仁

あらじん

生田区中山手通1 ☎ 391-0865 無休



おかげさまで一周年を迎え、7月20日に記念バー  
開きます。あなたも是非ご来店下さいませ。——森

スナック

## 花瀬

東門筋紅馬車前 荒神ビル6F

☎ 391-4116 日祝休



PUB &  
RESTAURANT

U  
PLANDS

生田区加納町3 丁目

1-34

☎241-8271

KOBE EATING & DRINKING GUIDE

中國料理  
榮和飯店

生田区栄町1-3-2

(中華街)

☎392-1982



夢二と夢  
酒と唄



すなっこ  
露亭

生田区再度筋町35-1

(諏訪山公園西100米)

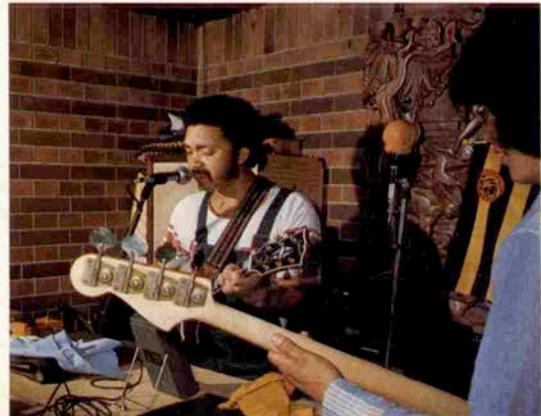
☎341-5223

DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1 丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

☎241-7320・7983

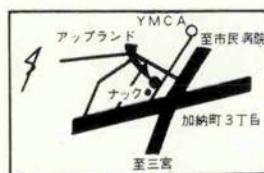


☆署中お見舞い申しあげます。

さて、今月はステキなライブのご案内をしましよう。毎週火曜日の夜2回(9:40PM、10:40PM)ご存知チャーリーとショーに、ジミーが加わり、時にはホットに、時にはクールに、ソウルからボビュラー、ジャズっぽい曲から、フォーク、ラテンと、その豊富なレパートリーのなかからステキなライブを聞かせてくれます。また、火曜日以外はチャーリーとショーとのライブが入ります。夏の夜のひととき、アップラングで気楽で陽気な本場イギリスのバブの雰囲気をお楽しみ下さい。

☆ポークソーセージ¥900 シェバーズパイ¥1,000 ステーキ&キドニイパイ¥1,000 フィッシュ&チップス¥750 コーニッシュバースティ¥800 ブロス(ウェールズ風シチュー)¥800 ヘレスステーキ¥2,800 J&B、G&G、OLD各¥500 ビール¥400 フィズ¥500

5:00PM~3:00AM 日曜祭日6:00PM~3:00AM 無休



UpLands

## KOBE EATING & DRINKING GUIDE

DRINKING IS AN ART OF LIFE  
WOODHOUSE



## 栄和飯店

☆「栄和飯店」で料理を担当している李昌冷さんはこれまで大阪の中国料理店「敦煌」で腕をふるい、朝日放送テレビの「料理手帳」で半年間指導をしていた人。だからこの店の料理の味は、中国の船員が来てもこれは本場の味だというぐらに確かなもの。さて今夜はK.F.S(コウエ・ファッショ・ソエティ)のメンバーが集っての会食。ファッショにも味にもうさりとけだが、さすがに美味いと仲々の好評。昼は定食をはじめ大衆的な料理を、夜は高級料理を手頃な価段で楽しめる。また、海鮮料理も予約をしておけば注文の品を出してくれる。

☆コース/5,900円(ビール2本付)コース(4・5人)=前菜、炒三鮮(海老と貝類、イカ甘煮つけ)干炸双味(揚げもの2種類)麻婆豆腐、古老肉(ぶた)旦花湯(玉子スープ)。他にも2・3人コース(3,900円)、4・5人のファミリーコース(5,900円)がある。

一品もの/清蒸鮮魚(むし魚)、豚吐丁(豚の胃袋いため)、油泡帶子(貝柱いため)、紅焼牛腩(牛肉の角切り煮込み)、紅焼牛柳(牛肉の一口テキ)、匙汁田蛙(カエル)など。11:00AM~9:00PM 第1・2・3火曜休み

までど暮せど  
宵待草の  
来ぬ人を  
今宵は月も  
やるせなさ  
出ぬさうな  
夢二



## チャーリー・サマーコンサートご案内

日時/8月25日(木) 6:00PM開場 6:30PM開演

場所/神戸文化ホール(中ホール)

チケット/前売りA席1,600円 B席1,200円(指定)

当 日 A席1,800円 B席1,400円(指定)

神戸が生んだエンターテナー、チャーリー! かつては「ヤングビーツ」の、そして「ヘルプフルソール」の名ベースマンとして注目をあびた天才的なフィーリング、プラス、しびれるような声、そして、躍動するリズム感……ただ、ただ、ウットリとさせてくれます。チケットは、「ウッドハウス」にもあります。また毎夜7・8・9・10・11時から30分、チャーリーのライブが聞かれます。

☆ビール(小)¥400 水割(OLD)¥500 おつまみ¥200 スパゲティ・ピラフ各¥500 キーブG & G¥6,000 レギュラースコッチ¥7,000

平日5:00PM~4:30AM 日曜5:00PM~0:00AM 第1・第3月曜休み